

6 地球温暖化のはなし

(2) 地球温暖化を止めるために、わたしたちにできること



一人あたりの二酸化炭素の排出量

家庭からの CO₂ 排出量は 1 世帯あたり平均で年間約 3,900 kg-CO₂ です。一人あたりに換算すると約 1,840 kg-CO₂、そのうち照明・家電製品と自動車で 55%を占めています。

出典：温室効果ガスインベントリオフィス

全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<https://www.jccca.org/>) より

あいち COOL CHOICE

「あいち COOL CHOICE」は、国が進める国民運動「COOL CHOICE (賢い選択)」に呼応し、県民の皆様、実際に CO₂削減行動・省エネ行動に取り組んでいただくため、県民一人一人に温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を呼びかける県民運動です。

「あいち COOL CHOICE」の取組例

住まいの COOL CHOICE

- ✓ LED 照明を使う
- ✓ 省エネ家電を選択する
- ✓ 家の断熱性を向上させる (窓を二重窓にする)
- ✓ 燃料電池を設置する

移動で COOL CHOICE

- ✓ できるだけ徒歩・自転車車で移動する
- ✓ できるだけ鉄道・バスで移動する
- ✓ エコドライブを実践する
- ✓ エコカー (EV, PHV, FCV) を選択する

その他の COOL CHOICE

- ✓ 地元の旬の食材を選ぶ
- ✓ 環境配慮商品を選ぶ
- ✓ 環境家計簿をつける
- ✓ 宅配便はできるだけ 1 回で受け取る

自宅で COOL CHOICE

- ✓ 夏はクールビズ! (冷房は室温 28℃を目安)
- ✓ 冬はウォームビズ! (暖房は室温 20℃を目安)
- ✓ 緑のカーテンを作る
- ✓ 照明の点灯時間を 1 時間短くする
- ✓ テレビを見る時間を 1 時間減らす
- ✓ 冷蔵庫の中身をつめすぎない
- ✓ 冷蔵庫の開けている時間を短くする
- ✓ お風呂は続けて入る
- ✓ シャワーの利用を 1 人 1 日 1 分短くする
- ✓ 使わない時はトイレの便座の蓋を閉める
- ✓ 衣類乾燥機、乾燥機能を使わない
- ✓ スイッチ付きタップなどを使い、待機電力を減らす

..... 副読本 P.40-41

留意点

地球温暖化を止めるために、自分たちに何ができるのかを考える。



(3) 地球温暖化に適応するためにできること..... 副読本 P.42-43



地球温暖化対策にピッタリの“水素エネルギー”

1 CO₂を出さない!

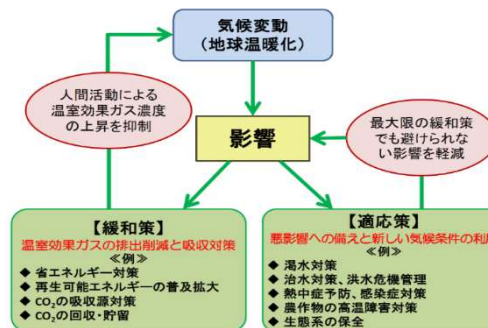
水素をエネルギーとして利用するには、エンジンなどで燃焼させる方法や、燃料電池を用いて電気をする方法があります。いずれの場合でも水素は利用段階で二酸化炭素を排出しないクリーンなエネルギーです。

2 色々なものから作られる!

水素は水の電気分解や天然ガスなどの化石燃料の分解により製造できます。そのため、「豊富なエネルギー源」として注目を浴びています。日本は一次エネルギーの約 90%を海外から輸入しており、特定地域への依存度が高いため、国際情勢の影響を受けやすい国です。水素は国内の再生可能エネルギーや海外の未利用エネルギーなどからも製造でき、製造段階からの CO₂排出低減が可能です。また、エネルギーの調達先の幅が広がります (「エネルギーセキュリティ」の強化)。

3 災害時にも役立つ!

燃料電池自動車は、発電した電力を外部に供給することができます。移動手段としての利用だけでなく発電装置として利用するなど、災害時の電力供給などにも役立ちます。



緩和策と適応策の関係

出典：日本の気候変動とその影響 (2012 年度版) (文部科学省・気象庁・環境省)



すでに気候変動は自然環境や私たちの生活に影響を与えており、今後も地球温暖化が進行すると、さらなる影響が生じるおそれがあります。さらに、将来、温室効果ガスの排出量がどのようなシナリオをとったとしても、世界の平均気温は上昇し、気候変動による影響リスクが高くなると予想しています。そのため、地球温暖化に対する取組として、温室効果ガスの排出の抑制等を行う「緩和策」だけではなく、すでに現れている影響や中長期的に避けられない影響に対する「適応策」についても進めることがもめられています。